説明書 No. SDC-L-BS 0004-081016

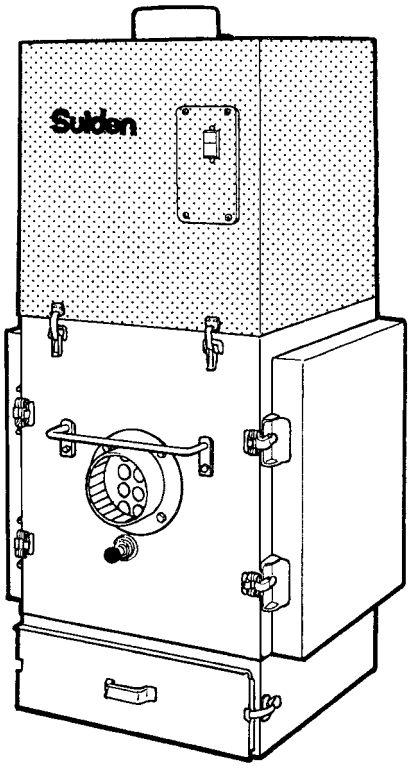
Suiden

カセットフィルター式

集塵機

SDC-Lシリーズ

取扱説明書



本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド<Suiden スイデン>製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内３相 200V 仕様
（指定以外の電源では使用できません）

本機は防爆構造ではありません

もくじ

1	安全のために必ずお守りください……	1
2	仕様……	3
3	各部の名称と外形寸法……	4
4	準備……	5
	1. 本体と電源の接続 ……	5
	2. 排気口の装着（取付け直し）……	6
	3. 別売ダクトの取付け ……	6
	4. 複数箇所からの吸引 ……	6
	5. 排気ダクトの設置 ……	6
5	ご使用方法……	7
	1. スイッチ ……	7
	2. シェイキング（ちりおとし）装置 ……	7
	3. ダストチャンバ ……	8
	4. フィルター ……	8
6	安全のための点検のお願い……	9
7	こんなときは（故障かな？と思ったら）…	10
8	アフターサービスと保証について……	11
＊	アフターサービスのお申し込みについて…	11

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠警告・⚠注意の2つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告： 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意： 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

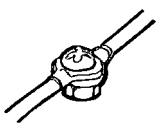
注記： 警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意）
		⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースを接地する）

●搬入・移動上の注意事項

⚠ 注 意	
搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。
リフトや走行クレーンで移送の際は、各免許所持者が移送する。 ＊落下、破損などによりケガの原因になります。	

●組立て・設置の際の注意事項

⚠ 警 告	
水平で、本体の質量に耐えられる充分な強度のある場所に設置する。 ＊横転すると、ケガをする恐れがあります。	配線工事は電気設備技術基準および内線規定に従って安全確実に行う。 ＊接続不良や誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
電源側と本体リード線の接続や、その他の分岐点の接続は、圧着端子ネジ締めで接続する。 ＊接続が不完全だと、感電、漏電、火災などの原因になります。 	品番SDC－L3700BSは、定格20A以上のコンセントを単独で使用する。 ＊他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱、発火することがあります。 20A以上を単独使用
アースを確実に取付ける。 ＊故障や漏電のときに感電する恐れがあります。	高速切断機や、グラインダーなどから発生する火花を含む粉じんを吸引する場合は、必ず消炎ＢＯＸを併用する。 ＊火災の恐れがあります。

⚠ 警　告

灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くに設置しない。
＊爆発したり、火災の原因になります。

アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内に設置しない。
＊爆発したり、火災の原因になります。

⚠ 注　意

製品を組立てるときは、各部のボルト・ナットを確実に締付ける。
＊振動でゆるみ、ケガや事故の原因になります。

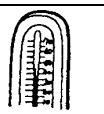
交流２００V以外で使用しない。
＊感電や、ショートして発火することがあります。

屋外の雨水のかかる場所で使用しない。
＊絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。

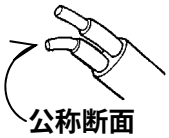
加給機を付加しない。他の送風機と連結しない。
＊オーバーロードの原因になり、モータ焼損による火災などの原因になります。

湿度の高い場所に設置しない。
＊感電・火災・故障の原因になります。
雰囲気湿度 80%以下でご使用ください。

温度の高い（40℃を越える）場所に設置しない。
＊火災の原因になります。雰囲気温度範囲は 0℃～40℃です。



延長コードの太さは、指定の公称断面積以上のものを使用する。
＊コードが発熱して火災の危険があります。



延長コードの長さは、電圧ドロップをしない規定電圧以内とする。
＊コードが発熱して火災の危険があります。

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 警　告

濡れた手で、差し込みプラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。
＊感電やケガの恐れがあります。

本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。
＊ショートや感電、火災の原因になります。

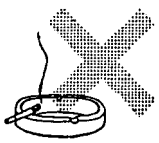
ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト（石綿）類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを集じんしない。
＊環境汚染・健康障害につながる危険性があります。

⚠ 注　意

動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検修理を依頼する。
＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

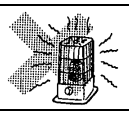
リセットスイッチを投入する際は、必ず電源を切る。
＊接点部分に金属などが触れてショートしたり、感電、ケガの恐れがあります。

シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、火のついたたばこの吸いがらなどは吸わせない。
＊爆発、火災、フィルター焼損の原因になります。



吸湿性・腐食性のある粉は吸わせない。
＊モータの故障・焼損や事故の原因になります。

火気に近づけない。
＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。



ダストチャンバを人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げる。
＊腰を痛める原因になります。

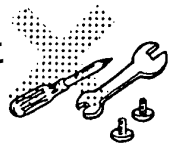
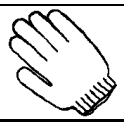
吸込口に指や手を入れない。
＊ケガをする恐れがあります。

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みが緩いときは使用しない。
＊感電やショートして発火することがあります。

配管やダクトは定期的に掃除する。
＊配管やダクト内部に吸引物がたまると、火災の原因になります。

⚠ 注 意	
電源プラグにピンやゴミを付着させない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	電源プラグのホコリなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。 ＊プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。
電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 ＊コードが発熱して火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。また、重い物をのせたり、挟み込まない。 ＊コードが破損し、火災･感電の原因になります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。

●保守・点検の際の注意事項

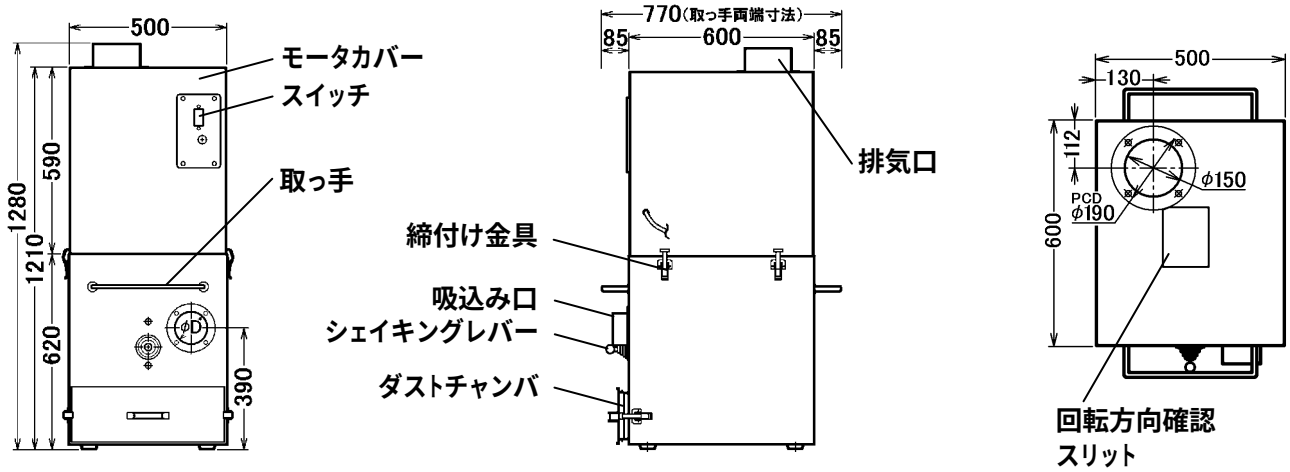
⚠ 注 意	
修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 ＊発火したり異常動作をすることがあります。 	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ＊感電やケガをする恐れがあります。
	フィルターを交換するときは、電源が切れていることを必ず確認する。 ＊感電、ケガの恐れがあります。
モータ組品を持上げる作業は､必ず２人でする。また､腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げる。 ＊腰を痛める原因になります。	保守点検の際は、必ず保護手袋をする。 ＊ケガをすることがあります。 

2 仕様

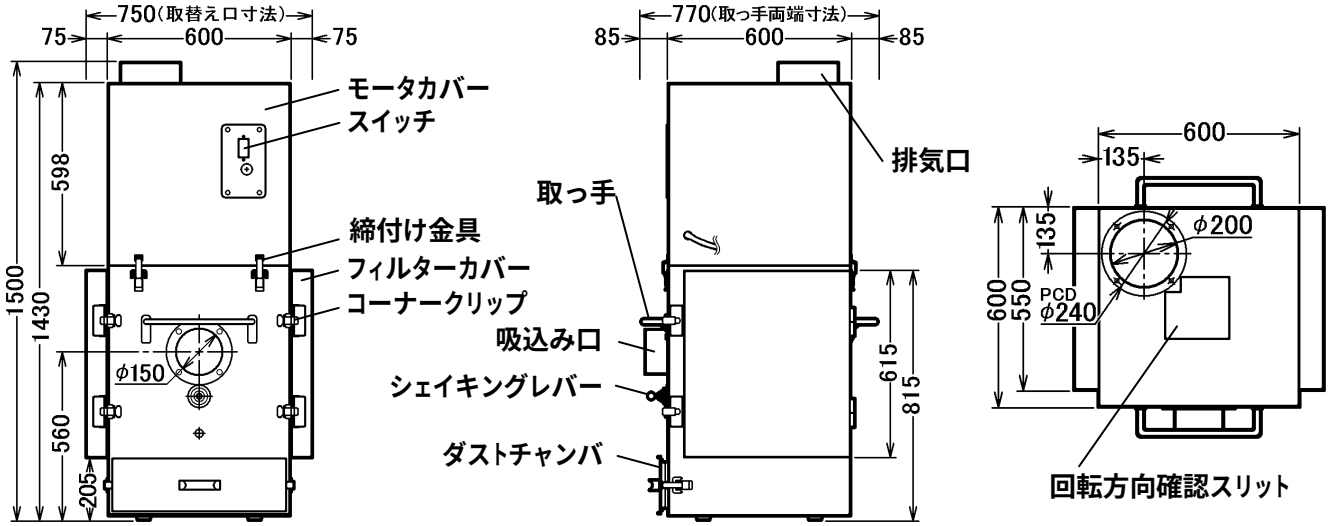
馬　力　区　分	1馬力	2馬力	3馬力	5馬力
品　番	SDC－L750BS	SDC－L1500BS	SDC－L2200BS	SDC－L3700BS
電源（相数・電圧）	３相200V	３相200V	３相200V	３相200V
電動機（出力・極数）	0.75kW･2P	1.5kW･2P	2.2kW･2P	3.7kW･2P
最大風量（50/60Hz）	10.5／12m³/min	19／23m³/min	22／28m³/min	37／47m³/min
最大静圧（50/60Hz）	1667／2353 Pa	1667／2353 Pa	2157／3040 Pa	2648／3334 Pa
ダストチャンバ容積	35L	35L	39L	55L
フィルター面積	2.0㎡	4.0㎡	8.0㎡	12.0㎡
カセットフィルター数	1個	2個	4個	6個
吸込口径（ｍｍ）	φ100	φ150	φ150	φ200
質　量	98kg	106kg	139kg	160kg
備　考	＊モータ保護装置内蔵　＊別売キャスター取付け可能			

3 各部の名称と外形寸法図

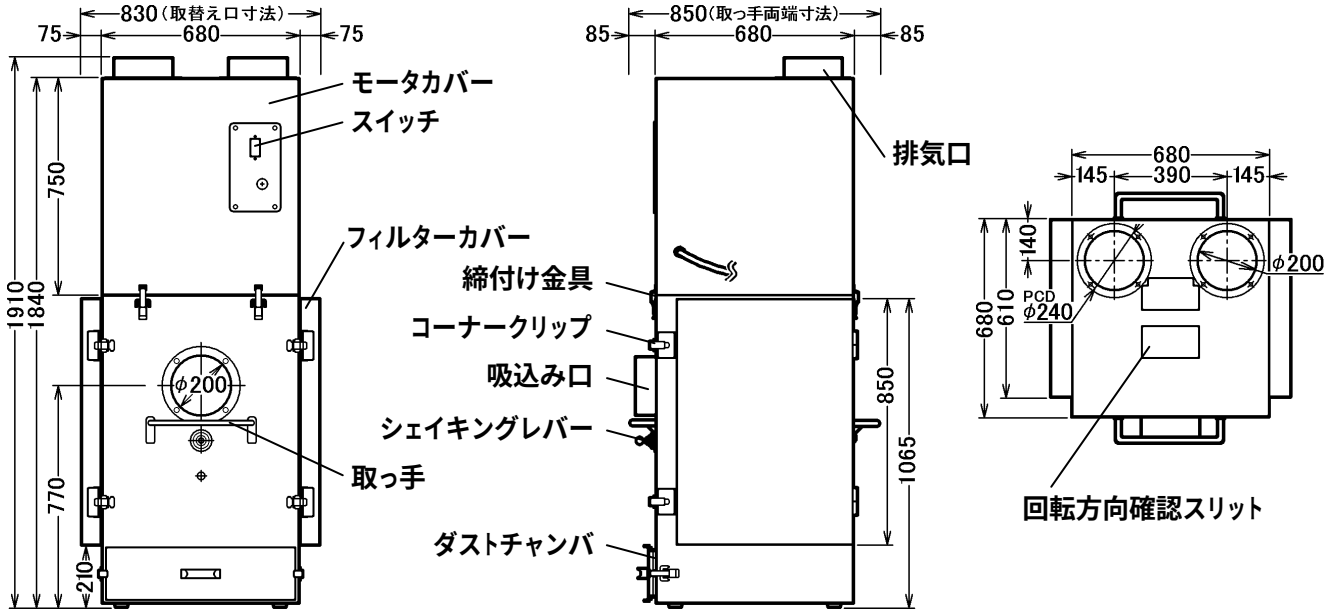
●ＳＤＣ－Ｌ７５０ＢＳ　※D寸法…φ１００
●ＳＤＣ－Ｌ１５００ＢＳ　※D寸法…φ１５０



●ＳＤＣ－Ｌ２２００ＢＳ



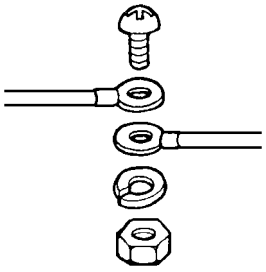
●ＳＤＣ－Ｌ３７００ＢＳ



4 準備

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1．本体と電源の接続



（1）配線の接続

電源側と本体リード線の接続や、その他の分岐点の接続は、圧着端子ネジ締めで接続してください。
本体リード線には、メガネ端子がついていますのでご利用ください。

（2）使用延長コード

本体と電源を接続する延長コードは、下表に表示のコードをご使用ください。

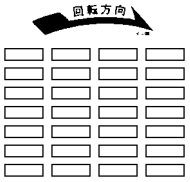
集塵機	延長２０mまでのときの延長コード断面積
１馬力　ＳＤＣ－Ｌ　７５０ＢＳ	公称断面積　1.２５㎟以上
２馬力　ＳＤＣ－Ｌ１５００ＢＳ	〃　　1.２５㎟以上
３馬力　ＳＤＣ－Ｌ２２００ＢＳ	〃　　2.０　㎟以上
５馬力　ＳＤＣ－Ｌ３７００ＢＳ	〃　　3.５　㎟以上

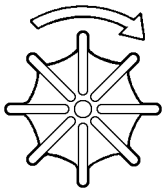
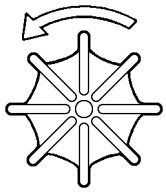
（3）配線後のモータ回転方向の確認

注記
①モータを逆回転のまま使用しないでください。
　＊吸じん性能が著しく低下し、モータ焼損の恐れがあります。
②回転方向確認スリットに浮遊粉じんがたまっていないか、確認してください。

電源接続後は、集塵機のモータ回転方向を確認してください。
モータ回転方向の確認は、集塵機本体上部の回転方向確認スリットから本体内部のモータを覗きこみ、モータの反負荷側についている外扇の回転方向で確認します。正しい回転方向は、モータの反負荷側から見て右回転（時計方向回転）です。
下図をご参照ください。

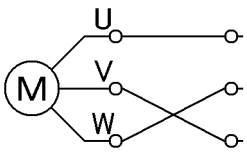
集じん機本体上部の回転方向確認スリットから内部のモータ外扇の回転方向を確認します。

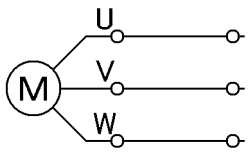


モータ外扇の回転方向（モータ反負荷側から見たとき）	
正しい回転方向	逆　回　転
	

逆回転しているときは、３相電源（アースを除く）の３本線のうち２本を入れ替えると、正回転に変わります。
右図をご参照ください。

電源３本線のうち２本を入れ替えると、回転方向が変わります。

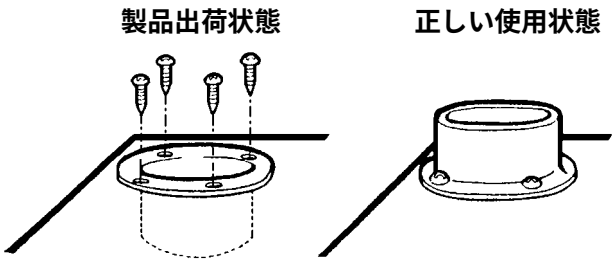




2．排気口の装着（取付け直し）

注記 排気口は、必ず正しい状態に取付け直してからご使用ください。
＊排気口を逆取付けのままで運転すると著しい能力低下を招くだけでなく、モータ焼損の原因になります。

製品輸送の都合上、集塵機の排気口は、製品出荷状態では本体内部に向けて逆方向に取付けてあります。
必ずご使用の前に正しい状態に取付け直してください。
＊排気口の数
　１馬力～３馬力の機種……１か所
　５馬力の機種……２か所



3．別売ダクトの取付け

別売ダクトを取付ける場合は、集塵機の吸込み口の口径に適合したダクトを選定し、付属のワイヤーホースバンドで締付けてください。

（付属品）ワイヤーホースバンド

各機種に付属品として吸込み口用ワイヤーホースバンドが１本付いています。吸込み口に別売ダクトを装着するときに締付けバンドとしてご使用ください。
隙間があると吸込み能力が低下します。

各機種に付属のワイヤーホースバンド径	
１馬力　SDC－L 750BS	φ115
２馬力　SDC－L1500BS	φ165
３馬力　SDC－L2200BS	φ165
５馬力　SDC－L3700BS	φ215

4．複数箇所からの吸引

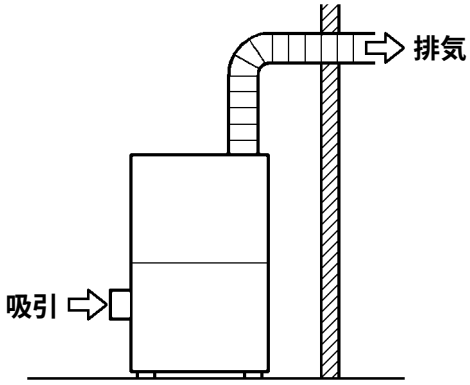
１台の集塵機で複数箇所の集じんを行う場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業マンにご相談ください。
適正なダクト配管を行わないと、充分な吸引力が得られないことがあります。

5．排気ダクトの設置

注記 排気口をふさいだり、間違った方法でダクト設置をしないでください。

排気側での圧力損失が大きいと、吸引力の低下を招きます。
排気口に排気ダクトを接続される場合は、できるだけ圧力損失の少ないようにレイアウトしてください。

機　　種	排気口径
１馬力　SDC－L 750BS	φ150
２馬力　SDC－L1500BS	φ150
３馬力　SDC－L2200BS	φ200
５馬力　SDC－L3700BS	φ200

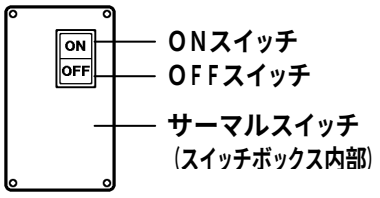


5 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1．スイッチ

（1）名称と機能



名　　称	機　　能
ONスイッチ	吸引を開始します。
OFFスイッチ	吸引を停止します。
リセットスイッチ	サーマルスイッチ（モータ保護装置）が異常を感知して停止した際に、再始動する前に投入します。

（2）リセットスイッチの投入方法

⚠ 注　意

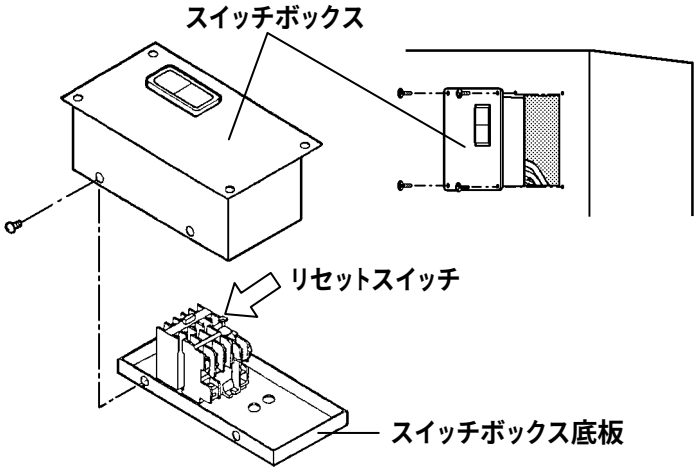
リセットスイッチを投入する際は、必ず電源を遮断する。
＊感電、漏電事故の原因になります。

①スイッチボックスを固定している４本のネジを外し、スイッチボックスを引き出します。

②スイッチボックス側面の４本のネジを外して、スイッチボックス底板を外します。

③リセットスイッチを押し込みます。

④上記①～②の逆の手順で組み直します。



（3）サーマルスイッチ（保護装置）の機能について

①スイッチボックス内に、モータ保護のためのサーマルスイッチが内蔵されています。過負荷や電源の欠相運転などを続けていると、保護装置が働いて電源を遮断し、モータ焼損を未然に防ぎます。

②保護装置が働いた場合は、直ちに電源を切り、配線系統の異常やハネ部などにゴミが付着していないかを調べて、保護装置が働いた原因を排除してください。

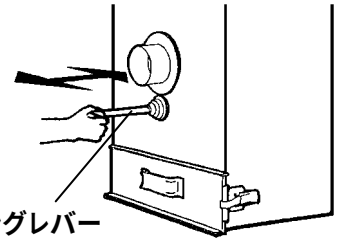
③サーマルスイッチは手動復帰型です。
必ず原因を取除いてから、リセットスイッチを押して電源を入れてください。

注記　保護装置が働いた原因が取除かれていないと、再び保護装置が働きます。
原因が取除かれないまま繰り返し運転すると、モータ焼損などの原因になります。ご注意ください。

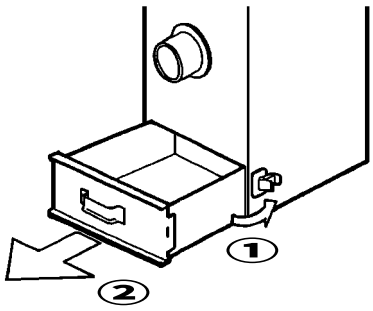
2．シェイキング（ちりおとし）装置

注記　集じん運転をしているときは、シェイキング（ちりおとし）をしないでください。

フィルターに、ちりが付着したままでは、集じん能力が低下します。
使用後または使用途中で運転を停止して、フィルターのシェイキング（ちりおとし）をしてください。
シェイキングレバーを前後に数回動かしてください。



3．ダストチャンバ



集じん運転の時間により、定期的にダストチャンバ内の粉じんを捨ててください。

ダストチャンバの引き出し方

①ダストチャンバ横２か所の締付け金具を外します。

②ダストチャンバのハンドルを握り、手前に引き出します。

ダストチャンバ装着の際は、締付け金具で確実に固定してください。

注記

①シェイキング後、すぐにダストチャンバを引き出すと、本体内の浮遊粉じんが出てくる場合があります。シェイキング後は、そのまま数分間おいた後に、ダストチャンバを引き出してください。

②粉じんを処理するときは、ダストチャンバを床などにたたきつけないでください。
＊ダストチャンバが変形すると、吸引力低下の原因になります。

③ダストチャンバは正しく装着して、締付け金具で確実に固定してください。
＊装着の仕方が不充分で空気漏れがあると、吸引力低下やモータ焼損の原因になります。

④ダストチャンバ内にたまったダストは頻繁に処理してください。
＊ダストをためたままにすると、ダストチャンバが引き出せなくなったり、吸引能力低下の原因になります。

⑤集じん機本体内部に残っているダストは、頻繁に掃除してください。
＊ダストチャンバを正しく装着することができなくなり、吸引能力低下の原因になります。

4．フィルター

シェイキング（ちりおとし）装置を使って、フィルターの掃除を定期的に行ってください。

（1）フィルターの点検

吸引力が低下したときは、フィルターを点検してください。
フィルターが汚れているときは、水洗いもできますから、破れたり穴が空かないように注意して丸洗いしてください。
洗浄後は、充分に乾燥してからご使用ください。
また、フィルターの汚れがひどい場合や、破損のある場合は、フィルターを新品と交換してください。
交換用フィルターを別売品で用意しています。機種により、カセットフィルターの使用数が違いますので、使用個数表を参考にしてください。

（2）フィルターの交換方法

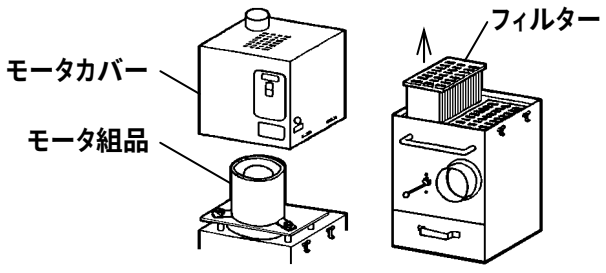
●ＳＤＣ－Ｌ７５０ＢＳ，ＳＤＣ－Ｌ１５００ＢＳ

⚠ 注 意

モータカバーは、必ず真上に持ち上げる。
＊斜めに持ち上げると、モータ組品が引っ掛かったり落下してケガをする恐れがあります。

注記

モータカバーとモータ組品を持ち上げる際は、モータリード線を切断したり、傷つけないようにご注意ください。



①締付け金具を外します。

②モータカバーを取り、モータ組品を持ち上げるとフィルターが見えます。

③フィルターを引き上げると取出せます。

④以上の逆の手順で新しいフィルターを取付けます。

各機種のフィルター使用個数	
１馬力　ＳＤＣ－Ｌ ７５０ＢＳ	１個
２馬力　ＳＤＣ－Ｌ１５００ＢＳ	２個

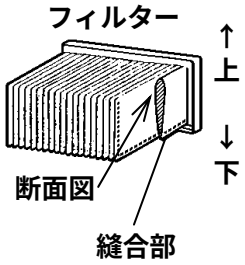
●ＳＤＣ－Ｌ２２００ＢＳ，ＳＤＣ－Ｌ３７００ＢＳ

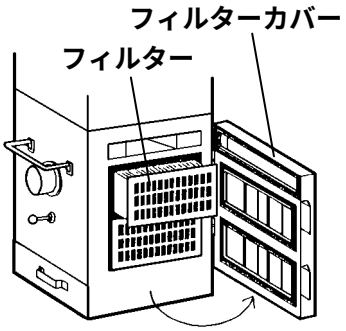
各機種のフィルター使用個数	
３馬力　SDC－L2200BS	４個
５馬力　SDC－L3700BS	６個

①コーナークリップを外してフィルターカバーを開くとフィルターが見えます。

②手前に引くと取出せますので、新しいフィルターと交換してください。
フィルター縫合部を下方へ向けてセットすると、フィルター寿命に良好です。図をご参照ください。

③フィルターカバーを閉めて、コーナークリップを締付けてください。





6 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全確保のため、下記を日常点検項目としてください。

点検項目	処　　置
振動や10度以上傾斜のある場所に設置していませんか？	水平で振動のない場所に移設してください。
電源（延長）コードは、傷んだり変形していませんか？	新しい電源（延長）コードに交換してください。
差込みプラグは、変形やガタがありませんか？	新しいプラグに交換してください。
電源コードと電源部は正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
電源コードと延長コードの接続部は、正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
電源（延長）コードと差込みプラグは、正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
ダクトは変形したり、破れていませんか？	新しいダクトに取替えてください。
ダクト内や本体内部にゴミが詰まっていませんか？	ゴミを取除いてください。
集じん機本体上部の回転方向確認スリットに、粉じんがたまっていませんか？	粉じんを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。（8～9ページ参照）
フィルターは破れていませんか？	新しいフィルターに取替えてください。
各部のパッキンは傷んでいませんか？	新しいパッキンに取替えてください。
各部の締付け金具は正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
各部の締付け金具に変形やガタはありませんか？	新しい締付け金具に取替えてください。
ダストチャンバは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
ダストチャンバは変形していませんか？	新しいダストチャンバに取替えてください。
ダストチャンバ内や消炎ＢＯＸタンク内に、ダストがたまっていませんか？	ダストを処理してください。
押しボタンスイッチは正しく機能していますか？	修理技術者またはお買い上げの販売店へご連絡ください。
モータ回転音に異常がありませんか？	
消炎ＢＯＸ（別売オプション）のタンクに適量の水が入っていますか？	適量の水を入れてください。

7 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

ご確認ください		
症状	調べるところ	直し方
モータが回転しない	電源プラグと延長コードは正しく結線していますか？	正しく結線してください。
	電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。
	電源プラグおよびコンセントの接触不良ではありませんか？	新しいものと交換してください。
	電圧が降下していませんか？	適正な延長コードに交換してください。（5ページ参照）
	サーマルスイッチが作動していませんか？	電源を遮断し、原因を取除いた上で、リセットスイッチを投入してください。（7ページ参照）
	電源ブレーカーがOFFになっていませんか？	電源ブレーカーをONにしてください。
	電源が供給されていますか？(停電など)	電力会社・電気工事店に連絡して対処してください。
吸込みが悪い	延長コードの断面積が小さくありませんか？	使用機種に合った延長コードに取替えてください。（5ページ参照）
	モータの回転方向が逆になっていませんか？	3相電源の3本線のうち2本を入れ替えて結線してください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	シェイキングを行ってください。
		フィルターを洗ってください。
		フィルターを交換してください。
	各部の密閉度が悪くありませんか？	ダストチャンバを確実に閉めてください。
		フィルターカバーを確実に閉めてください。
		パッキンを交換してください。
	吸気・排気ダクトの圧力損失が大き過ぎませんか？（吸気・排気ダクトの空気の流れが悪い）	適正な断面積のダクトに替えてください。
		ダクトの曲げ部を少なくしてください。
		ダクトの長さを短くしてください。
	ダクト内部に異物が詰まっていませんか？	ダクト内部の異物を取除いてください。
	吸込み経路に穴や空気の漏れがありませんか？	穴をふさいでください。
		空気の漏れをなくしてください。
	配管経路に、つぶれはありませんか？	新しいダクトに取替えてください。
	ダストチャンバにダストがたまりすぎていませんか？	ダストを処理してください。
	フード形状、吸込口数、ダクト長さに対して能力が不足していませんか？	大型機種に取替えてください。
運転中に異常音や振動がある	設置場所の強度は充分にありますか？	充分な強度の場所に移設してください。
	集じん機本体上部の回転方向確認スリットに、粉じんがたまっていませんか？	粉じんを取除いてください。
	ハネのバランスが狂っていませんか？	修理技術者、もしくはお買い上げの販売店にご連絡ください。
	モータのベアリングが損傷していませんか？	

上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

8 アフターサービスと保証について

⚠ 注 意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用のパーツの保有期間は、製造打ち切り後６年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より１年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。　お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用の集塵機の点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“ におい ”がする。 ●その他の異常がある。	▶ お願い 異常があればご使用を即、中止!!	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、または当社支店・営業所へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	
所在地	
ＴＥＬ	
ＦＡＸ	
お買い上げ年月日	年　月　日

株式会社スイデン
奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘 3-26
ホームページ　http://www.suiden.com

スイデン商品についてのお問い合わせは、最寄りのスイデン支店・営業所へどうぞ！

東京支店	☎(03) 3625-9003
大阪支店	☎(06) 6772-2241
名古屋支店	☎(052) 882-3621
福岡支店	☎(092) 471-6201
仙台営業所	☎(022) 288-4777
北関東営業所	☎(0277) 76-1805
静岡営業所	☎(054) 237-5172
富山営業所	☎(076) 407-1801
広島営業所	☎(082) 292-6311
高松営業所	☎(087) 843-4896
お客様相談室	0120-285-240

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。